

# 補助犬と来院OK

高山赤十字 来月から受け入れ

高山市天満町の高山赤十字病院は、8月から飛騨地域の病院として初めて、身体障害者補助犬の受け入れを始める。7日には、盲導犬を育成し、目の不自由な人に無償貸与している中部盲導犬協会（名古屋市港区）のトレーナーと訓練中の犬が病院を訪れ、受け入れ態勢を確認した。（酒井翔平）

## 飛騨初 医師ら対応学ぶ

同病院に通院している目の不自由な患者が、盲導犬を利用することになり、受け入れを決めた。利用先の内科の医師や看護師らが中心となり、半年前から準備を進めてきた。県内では岐阜市などの病院が、既に受け入れしているという。

トレーナー二人は、盲導犬のラブラドルレトリバー（雄一歳）を連れて、高山赤十字病院の玄関から階段を使い、二階の内科や眼科などを訪れ

た。医師や職員らは、トレーナーから「初めて来院した患者には、口頭で場所を説明してあげて」「盲導犬が待合室で待っているときは、不安にさせないようにスタッフを付けてほしい」などと説明を受けていた。

奥洞克彦事務副部長は「長時間の場合、犬の排せつなどの問題もあるので、対応を考えたい。みんなが同じ対応ができるようにしたい」と話していた。



階段を歩き、内科へ向かう盲導犬  
高山市天満町の高山赤十字病院で